2023年度　初級雪山修了山行　八ヶ岳（硫黄岳）

山行日　2024年2月10日(土)夜発～12日(月祝)
メンバー　　（ＣＬ安全・教育部部長　Ｉさん）　ＳＬ・記録　安全・教育部Ｋさん
　初級雪山教室参加者　ここゆめ班S.Yさん、S.Kさん　シリウス班　Ｎさん
　弥生班　Y.Kさん
記述者　N
コース（行程）10日23：00　和歌山発
　11日(日)07：00美濃戸口Ｐ発 1490m～08：30美濃戸山荘北沢分岐1720m
　　～10：40全員で途中氷瀑見学～12：50行者小屋～13：50赤岳鉱泉着 2220m
　12日(月祝)07：30赤岳鉱泉発 2220m～09：30赤岩の頭～10：15硫黄岳～12：00赤岳鉱泉 2220m
　　～14：20美濃戸山荘～15：30美濃戸口　駐車場着～16：50もみの湯発～23：30和歌山着　解散

２月10日夜、１０人乗りのレンタカーとＩさんの車、計２台。１１人で八ヶ岳は美濃戸口駐車場へ向けて出発しました。夜通しの運転は鍛冶さんはじめ、男性陣の方が交代でしてくれました。いつも乗せていただいてばかりなので、いずれは私も運転する側にまわらなければと思うのですが、今回は車内で寝る気満々でした。本格的な雪山を歩くのも、冬靴に１２本アイゼンを装着して歩くのも初めてなので、ちょっとでも体力を貯めとこうと思いました。車内では申し訳ないくらいよく寝むれました。気がつけばもう駐車場に到着していました。まだ眠い。けど周りは皆、朝食を済ませで出発の準備が始められていました。やばい、いきなり出遅れました。慌てて朝食を取り準備にかかりました。冬仕様のスパッツを履くのに時間を要しました。焦ると余計時間がかかりました。なんとか形を整え、いざ出発。
きれいな朝日と青空が迎えてくれました。

出発前は寒くて沢山着込みましたが
歩きだすとすぐ汗だくになりました。
出発前は少し寒いくらいがちょうど
いいと教えていただきました。

手袋が落ちないようにとつけていた紐
が長すぎてブラブラしていたので、
アドバイスをいただき、落ちないように
長さを調節しました。

一日目は赤岳鉱泉まで南沢コースを通って歩きました。ずっと登りなのでしんどかったですが、雪を踏むとギュッと音がして、楽しかったです。途中、大滝の氷瀑を、荷物デポして見に行きました。ドーンと滝が凍っていて迫力がありました。アイスクライミングされている方達がいました。氷瀑のあたりは雪の下も凍っているので、アイゼンの前爪を利かせて歩くよう教えていただきました。急斜面での方向転換や下り方も学びました。雪や氷で滑ってしまい、怖くなって、顔も動きも強張りました。

凄い氷瀑

怖かった下り

←　行者小屋にて。

Ｉさんが心境を歌で表現されてました。
「**帰りた～い　帰りた～い、** あったか〇〇が待っている～♪」
いい声で歌われていました。

私は２日目の硫黄岳に向かう途中、登りがきつくて、ちょっとその心境になってしまいました。

行者小屋から赤岳鉱泉まであとちょっとですが、長く感じられました。

　赤岳鉱泉到着後は、皆様お楽しみの宴会が始まり、私も仲間に入れていただきました。夏の山行予定などの話をして楽しい時間を過ごしました。

部屋は二階の大部屋。こたつはなく布団が並べられていました。暖かい部屋でした。

トイレは一階の端っこです。建物内にあり綺麗でした。女子トイレは４つありました。
男子トイレは朝、渋滞していました。

晩御飯。
ステーキかビーフシチュウ。どっちかなと楽しみでしたが、出てきたのはチーズ in ハンバーグでした。
美味しかったですが、ちょっと残念。

２日目。
硫黄岳へ向かうのですが
登りはじめがしんどかったです。
ゴーグルがいつもの感覚を奪って鬱陶しい。体力まで奪われていくようでした。
　K さんが宴会のとき、「歩けるの楽しい。」と笑顔で語られていたのを思い出し、道中、K さんに「しんどくないですか？」と訪ねたら、「しんどいよ～」と

返事が返ってきました。
　そうか、Kさんでもしんどいんだ。しんどくても歩けるのって、よく考えたら幸せなことなんだ。そう自分に言い聞かせ頑張りました。

準備を整えて、いよいよ核心の硫黄岳へ向かいます。
爆風の中、あんなに鬱陶しかったゴーグルがなくてはならないものになりました。

ピッケルを立ててお辞儀するように上体を下げて突風に耐えながら進みました。もう少しで展望が開ける。
やっときた！！
無事みんなで登頂できました。
辛かったぶん感動もひとしお
達成感で満たされました。

写真を撮って、あたりを満喫してから下山しました。
下山はリラックスできて
楽に感じました。

美濃戸山荘分岐で、１０分も待つことなく
赤岳チームと合流しました。
みごとなタイミングでした。

駐車場まで戻り、帰り道
もみの湯にて入浴。サービスエリアで晩御飯を食べてお土産を買って帰りました。

今回の山行で、雪山を歩くというのはどんな感じなのか、多く学びました。準備から始まり遠具の使い方まで分からないことばかりでした。一つ一つ丁寧に教えていただきました。それでも頼りなかったと思うのですが、焦らされることなく、常に温かく見守っていただきました。

Kさん、Iさんはじめ、一緒に登る仲間がいたから、八ヶ岳までこれて
途中でくじけずに歩け、そして硫黄岳まで登れました。心から感謝の気持ちでいっぱいです。紀峰に入会していなければ、皆様と出会っていなければ、こんな素晴らしい景色も知らないままだったと思います。入会して本当に良かったです。

教えていただいたこと忘れないように、もっと経験を重ねたいです。まだまだ未熟ですが、やがては私も教わったことを、これからの方達に伝えていけるようにしっかりしていきたいです。

Kさん、S.Y先生、S.Kさん、Y.Kさん。本当にありがとうございました。
赤岳チームの皆様もお疲れ様でした。帰りの運転をしてくださいました、皆様にも
心より感謝いたします。

長い感想文になりました。申し訳ありません。
とても良い経験になった終了山行。最高に楽しかった。参加出来て良かったです。
皆様、ありがとうございました。